

み や ま り ん ど う

令和7年度（2025年度）学校通信 第10号 令和8年1月27日発行



校訓 **『風雪に耐えて猛進せよ』**

上高生としてのプライド

校長 近藤 伸

上川町は昨年以上に雪が多いですが令和8年がスタートしました。本年も上川高校へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

冬休みが終わり1月16日（金）から生徒達は元気に登校しています。

3年生は2月1日から家庭学習に入り、校舎の中は少し寂しくなりますが、2月からの高校入学者選抜（出願状況は道教委HPに掲載されます。）や学年末考査、そして3月1日は卒業式と忙しい時期となっていきます。

冬休み明け全校集会で、生徒達に「上高生としてのプライド」「成長を止めない」話をしました。改めて「上高はどんな高校なのか？ 上高生としてのプライドを持とう」ということで、以下の質問を生徒達にしてみました。

質問1 上川高校の「校訓」は何か？

質問2 上川高校の「校章」は何をデザインしているか？

質問3 上川高校の「スクールカラー」は何色か？

自分が通っている高校について、知っているようで実は知らないことがたくさんあります。全て答えられる生徒は残念ですがいませんでした。

答1 校訓 『風雪に耐えて猛進せよ』（昭和62年創設）（日本一リアルな校訓）

答2 校章 『ミヤマリンドウ』（昭和32年制定）（学校通信の表題）

答3 スクールカラー 『薄紫』（昭和32年制定）（ミヤマリンドウの色）

校訓やスクールカラーを知っていることも大切ですが、生徒達には「校訓にどんな想いが込められているのか」「上高生としてどんな行動をしなければならないのか」を考えて欲しいと願っています。上川高校の伝統や文化、諸先輩達が築き上げてきた歴史を感じて、「上高生としてのプライド」を持って行動することが自分自身の成長に繋がる。

上高生はやればできる。やったらできた上高生。自分に自信を持って、プライドを持って高校生活を送って欲しいものです。

生徒達が安心して学べる、そして安全な環境づくり

現在の上川高校の校舎は、昭和63年（1988年）に完成されたもので、校舎改築から38年が経過しています。

校舎は少し古くなってきていますが、生徒自身が大切に校舎を使っているのはもちろん、事務室の皆さんや環境整備員の方が、生徒が安心して安全に学べる環境を整備しています。感謝しかありません。生徒が安全に学ぶために体育館や格技場の改修、生徒が落ち着いた環境で学ぶために各教室のICT機器整備や図書室の空間作りのための机の設置など、上川高校に携わる全職員は「生徒達が安心して学べる、そして安全な環境づくり」という同じベクトルを持っています。そんな大人達に見守られながら生徒達はもっと成長して欲しいと思います。

令和7年度「DX（デジタルトランスフォーメーション）ハイスクール（高等学校DX加速化推進事業）」に採択されたことで、備品整備などを進めています。生徒用ハイスペックパソコンや動画編集ソフト3Dプリンター、レーザー加工機を使用して様々なモノづくりに対応できる環境を整備しています。本格実施は次年度からになりそうですが、生徒達が安心して学べる環境づくりを行っています。学びを止めない上川高校。



38年間、生徒達を見守る校舎

上川高校の強み・課題・これから ～学校評価アンケートより～

令和7年(2025年)度 学校評価アンケートまとめ ※最高点：4 最低点：1 中間点：2.5

	中間目標	重点事項	教職員	生徒	保護者
重 点 目 標	地域に開かれた教育活動の推進	魅力ある教育活動の充実による「選ばれる学校」づくりと効果的広報活動	2. 9 (-0.2)	3. 0 (-)	3. 3 (-0.2)
	地域と連携した進路指導	大雪の自然や地域の教育的資源（人的・物的）の活用	2. 6 (-0.3)	3. 0 (-)	3. 0 (+0.2)
	教職員の協働体制確立	心身共に健康で働ける労働環境と協働性・組織性が機能する職場づくり	2. 8 (+0.1)	-	-
学 習 指 導	生徒の基礎学力の定着	基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させる指導の充実。	2. 1 (-0.7)	3. 0 (-0.3)	3. 0 (+0.1)
	生徒が主体的に学ぶ意欲の向上	「主体的・対話的で深い学び」「学びの個別最適化」を軸とした授業改善。	2. 4 (-0.5)	3. 0 (+0.2)	2. 9 (+0.1)
	ICTの活用と学習評価の工夫	ICTを効果的に活用した学習活動の実践	2. 8 (-0.1)	3. 0 (-0.3)	3. 1 (-)
	特色ある教育活動の工夫・改善	総合的な探究の時間を軸とした特色ある教育活動を地域連携の実践。	3. 5 (±0)	3. 0 (-0.3)	3. 4 (-0.1)
生 徒 指 導	他者理解と思いやりの心の育成	自己と他者を思いやることができる態度の育成を図る。教員と生徒相互の信頼に基づく教育相談の充実を図る。	2. 7 (-0.4)	3. 3 (±0)	-
	規範意識・公共精神の育成	挨拶・時間・マナーの意識醸成と情報モラルの理解 学校生活を安心・安全に送る態度を育む。	2. 6 (-0.2)	3. 2 (-0.2)	3. 3 (+0.6)
	生徒の自主性・主体性の育成	生徒会活動や部活動を通して生徒の主体性を育成する。	2. 7 (+0.6)	3. 0 (-0.1)	3. 2 (-)
進 路 指 導	進路実現の系統的支援	進路目標を考慮し、学年に応じた進路意識付けを明確にする。	2. 2 (+0.1)	3. 2 (+0.1)	3. 3 (+0.4)
	キャリア教育の推進	進路情報の発信を適切に進めて、ガイダンス機能を充実させる。	2. 5 (±0)	3. 2 (±0)	3. 3 (+0.2)
	資格取得の推進	生徒個々の進路目標を実現するための資格取得や講習を推進する。	2. 8 (±0)	3. 0 (+0.3)	3. 4 (+0.4)
健 康 指 導	多様性の尊重と健康増進	心の悩みの早期対応と教育相談の組織的支援体制を構築する。	2. 8 (-0.2)	3. 1 (+0.2)	3. 2 (±0)
	環境整備	校舎内外の環境美化・環境衛生意識の向上と公共心を高める。	2. 7 (±0)	3. 1 (-)	3. 4 (+0.3)
	危機管理体制の点検・見直し	自然災害等に備える意識醸成及び教育活動における事故防止等の安全対策を徹底する。	2. 9 (-0.2)	3. 2 (+0.1)	3. 2 (±0)
探 究 活 動	課題解決力の育成	「課題設定・調査・考察・分析・アウトプット」のサイクルに基づいた探究活動を推進する。	2. 3 (-0.6)	3. 1 (±0)	3. 1 (-0.1)
	教科横断的な取組	各教科・科目における日常の授業や特別活動・行事においても探究力を養う取組を積極的に取り入れる。	2. 4 (-0.3)	-	-

本校の最大の強みは、雄大な自然や地域の方々の力を生かした「本校ならではの学び」と、生徒一人ひとりの夢の実現に寄り添う「手厚い進路指導」です。地域と連携した体験学習や探究活動（大雪基礎）を通して、生徒たちは教室の中だけでは得られない「自ら考え、行動する力」を着実に育んでいます。また、資格取得支援や個別の進路サポートに対する保護者の皆様からの信頼も厚く、将来を見据えた指導を大切にしています。

一方で、本校は現状に決して満足することなく、教育の質をさらに高めていく必要があると考えています。特に、「確かな基礎学力の定着」と「探究活動のさらなる深化」を重要な課題と捉え、教職員一人ひとりが高い当事者意識をもって授業改善やICTの効果的な活用に取り組みます。

これからも、地域とともに学びの質を高めながら、生徒が主体的に学び、安心して成長できる学校を目指して、教育活動を着実に推進してまいります。なお、日頃より本校の教育活動に対し、ご理解とご協力をいただいている保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。今後も、家庭と学校が連携しながら、子どもたちの成長を支えてまいりたいと考えております。